

2017年 JSAPD オープンセミナー抄録

根管治療において、無菌的処置の徹底および基本コンセプトを遵守することにより、多くの病変は高い確率で治癒することがわかっています。しかしながら病変は細菌感染であるため、細菌の数が減少できなければ難治化し、また一旦治癒が得られたとしても再感染を起こす可能性があります。辺縁漏洩は、このような根管治療の成功率を妨げるリスクのもっとも代表的なものです。根管治療中に仮封が脱離したら病変の治癒にどのくらい影響があるのか？根管治療後の処置が病変の治癒にどのような影響をもたらすのか？辺縁漏洩を起こしにくい材料や手技にはどんなものがあるか？本セミナーでは、根管治療を辺縁漏洩という切り口から見つめ、高い治癒率を得るために何が大切であるかを考察いたします。

田中浩祐